

# 審議会等議事概要

平成20年度 滝川市高齢者虐待をしません・させませんネットワーク代表者会議 議事概要

日 時	平成21年3月5日(木曜日)16時～17時30分
開催場所	滝川市役所3階 301・302会議室
出席者	紺野義広 畑野雅彦 丸山健 米田正弘 菅 浄美 宮川洋美 神原知夫 泉田千一 佐々木弘彦 中村京子 中嶋友栄 長谷川稔 塚田良夫 橘 弘恭 織田恵子 事務局等：滝川市長田村弘、保健福祉部長狩野道彦、介護福祉課長山崎猛、副主幹 佐川むつ子、社会福祉士井上由紀子
議 事	<p>1 開 会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長から各関係機関代表者に対してよろしくお願ひしたい旨のあいさつがあった。</li> </ul> <p>3 講演</p> <p>演題「虐待を防ぐネットワークの役割」          講師 空知保健福祉事務所社会福祉課          主査 川本 京子氏</p> <p>4 会長あいさつ</p> <p>皆様のご協力を得て議事を進めたいと思うのでよろしくお願ひする。</p> <p>5 報告事項</p> <p>(1) 滝川市の高齢者虐待対応の状況</p> <p>事務局) 平成19年度高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する全国・全道の調査結果、平成20年度(4月～2月末)滝川市における対応状況報告</p> <p>委員) 統計上、虐待される比率が男性より女性が多いとなっているが理由はあるのか</p> <p>川本講師) 厚生労働省より明確に発表になっていないが、          女性は力が弱いので暴力を受けやすい、          虐待者の1位が息子となっている。母親として甘やかしたり、共依存等の関係がある、          等の理由から女性が多いと一般的には言われている。</p>

(2) 「高齢者虐待防止相談対応マニュアル」について説明

質疑応答なし

## 6 意見交換事項

### (1) 啓もうの状況と課題について

事務局) 老人クラブなど地域を小さく回り啓もうを行っている。滝川市の広報を利用し周知を行うが、市民からの相談件数は増えない。相談が少ないから高齢者虐待がないととらえるのには危険が大きい家族と暮らしている高齢者には民生委員や町内会の見守りも薄くなる

宮川委員) 他市において市の広報紙4ページを使い特集記事を組んだ例がある。

中村委員) どう啓もうしていくかは難しいし、問題だと思っている。

自分たちの住む地区で勉強会を開きたいと考えている。

### (2) 事例検討会

事務局) 認知症があると思われる高齢者だが診断は受けていない。近所が見守りを行い、手助けを行っているが特定の他人が出入りをしている。

貯金がなくなってきているようだ。本人はお金が盗られたと警察を呼んだりしたこともあるが、盗まれたのか渡したのかは分からなかった。

通帳から頻回にお金が下ろされているが、本人の手元には現金がない、本人もどうしたのか分からない様子。

本州に住む娘は成年後見の申立てをする意思はない。詐欺なのか虐待なのか判断がつかない。

会長) 難しい事例ですが、ネットワークの皆様に対応について良いお知恵をお借りしたいと思いますがいかがですか。

紺野委員) 包括支援センターから相談を受けているが、お金がなくなっても、どのような形でなくなるか不明な状況では事件性の判断は難しい。成年後見制度を利用するのが望ましい。

丸山委員) 成年後見制度が機能的に動ける体制が必要で、そのためには法人後見が良いと思われ、社協には考えてもらいたい。

長谷川委員) 法人後見は検討していきたい。

会長) 近所で見守りをしていると言うことはネットワークの中の早期発見・見守りにあたるのではないか。どう機能させていくと良いか。

泉田委員) なかなか地域のことがつかめなくなっている。直接相談があると訪問できるが、近所の人もわからなくなっているので早期発見は大変難しい。

神原委員) 訪問しても虐待があるかどうかはわからない。親子で住んでいると安心する。今年、虐待の講演を受けて勉強したい。

佐々木委員) サービス事業連として、積極的に困っていることはないかと訪問することは、営業になりかねない。

相談に乗りたいと思っても家族の問題と言われたりする。

会長) 人権に関することで法務局にも相談があると思うが、どのような

	<p>対応をしているか。</p> <p>畑野委員) 相談はあるが、詳しく調査となると断るケースが多い</p> <p>会長) ありがとうございます。川本先生から何かあるか</p> <p>川本講師) 高齢者虐待は児童虐待や配偶者虐待より後にできている法律だが市民の命を守るんだという意識を市がきちんと持っていくという姿勢が大事。見守りをして経過をみると言うことだけでなく、経過を見ている中でもその人がSOSを誰に出すか明確化にすることが大事。</p> <p>7 その他</p> <p>事務局) 特になし</p> <p>会長) 今後もネットワークの皆様にはご協力をお願いしたい。</p> <p>8 閉会</p>
<p>会議資料</p>	<p>資料1 高齢者虐待の発生要因と今後の対応・支援</p> <p>資料2 高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果</p> <p>資料3 滝川市高齢者虐待防止相談対応マニュアル</p> <p>資料4 高齢者虐待防止ネットワーク構築済み市町村の状況(平成20年4月1日)</p> <p>資料5 滝川市高齢者虐待をしません・させませんネットワーク代表者名簿</p>